

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

奥津軽長寿の家

グループの名称

奥津軽長寿の家を考える会

直近採択グループ番号

04-0477-0023

(グループ代表者)

代表者名

白戸 新一

代表者印

代表者所属先

有限会社白戸建設

代表者所在地

青森県五所川原市大字稲実字米崎53-54

代表者電話番号

01-7335-6291

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社吉田産業 五所川原支店

事務局担当者名

平山 啓次

印

事務局郵便番号

038-3107

事務局所在地

青森県つがる市柏稲盛岡本94

事務局電話番号

01-7335-8111

事務局FAX

01-7334-9156

事務局担当者E-mail

k-hirayama@yoshidasangyo.co.jp



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		1	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m <sup>2</sup>							
		申請が未確定	棟							
			m <sup>2</sup>							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	構成員全員初めてなのでとにかく各事業者、最低1棟でけるようにする。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 奥津軽長寿の家	(地域型住宅供給対象地域) 青森県津軽全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 奥津軽長寿の家を考える会	(結成年) 2016年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0477-0023	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	寒冷地帯である地域性を考慮し、冬季の生活への負担を軽減するため、住宅の気密・断熱化を重視し、耐久性をより向上させると共に一次消費エネルギーの消費を控え、平成25年度基準に適合した長寿命住宅を設計・施工する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	寒冷地に生活する上で十分な断熱性能を確保して設計及び施工を行う。また、耐震性についても配慮し、青森県、岩手県産材認証制度の地域材と合法木材を可能な限り使用し、快適で健康で安心して暮らせる家作りをする。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	積雪に配慮した勾配屋根または、無落雪屋根として、積雪時の雪下ろしが必要のない設計とする。内装材にも地域材を積極的に取り入れ、日射取得・遮蔽・通風の自然エネルギーを考慮した燃費効率に優れた住宅を設計計画する。	◎
④①～③の背景	豪雪地で寒さも厳しく、室内環境を良好に保つ必要がある。屋根形状や断熱仕様十分に配慮する事で落雪事故やヒートショックなどを未然に防ぐ	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	構造材はJAS認定の集成材を用いて、より品質の良い住宅を提供し、長く住み継ぐ、資産価値の続く家作りを目指す。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	構造材はJAS認定の集成材とし、基本は3寸5分柱とする。	
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
②-1 建材・資材調達の商品化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 定期的な会合を開き色々な案を出し合う場を設ける。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	■ ない □ ある → 内容: 定期的にタイムリーな情報提供を行う	○
b	グループの信頼性向上に向けた施工基準	
①	■ ない □ ある → 内容: エネルギー等級5の取得を目指す。	◎
②	■ ない □ ある → 内容: 第三者機関による検査や性能評価等の検討をしていく。	◎
③	■ ない □ ある → 内容: 仕様の標準化を進め、価格表を整備し、迅速に積算できるようにする。	○
④	■ ない □ ある → 内容: 現場の構造や完成見学会、定期的勉強会を実施していく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	各構成員がホームページやSNSなどを利用した告知活動を実施する。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 奥津軽長寿の家	(地域型住宅供給対象地域) 青森県津軽全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 奥津軽長寿の家を考える会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0477-0023	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール ■ ない □ ある → 内容: 共通の管理項目、方法によりファイリングしてものを統一管理保管していく。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 ■ ない □ ある → 内容: 管理サービスなどを活用し維持管理・診断・点検等・計画的に実施する。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 ■ ない □ ある → 内容: 窓口となる事務局に問合せ確認する。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール ■ ない □ ある → 内容: 維持・保全の計画を共有し定期的整備をする。	○
②-2	補修の共通ルール ■ ない □ ある → 内容: 同上	○
②-3	点検補修実施の確認手法 ■ ない □ ある → 内容: 点検実施者から報告する。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 ■ ない □ ある → 内容: 施工業者・設計業者が意見交換や勉強会実施する。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 ■ ない □ ある → 内容: 構造見学会にホームセンターなどに協力してもらい実施する。	○
③-3	その他の相談会等の実施 ■ ない □ ある → 内容: 現場見学会やメーカー展示会などで実施する。	○
④	維持管理委員会等の設置 ■ ない □ ある → 内容: 施工構成員全体で検討していく。	○
⑤	その他の維持管理の手法 ■ ない □ ある → 内容: 同上	○
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール ■ ない □ ある → 内容: 完成保証制度への確認と未登録社は登録してもらう。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 ■ ない □ ある → 内容: 保険業者等に講師を依頼し勉強会実施する。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○
一般ユーザーに向けての相談窓口を開設せず。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 ■ ない □ ある → 内容: 定期的な施工技術に関する勉強会及び外部研修会を実施する。	○
②-1	品質管理のための共通ルール ■ ない □ ある → 内容: 瑕疵担保責任保険法人をハウスプラス住宅保証に統一する。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 ■ ない □ ある → 内容: 事務局で確認作業を実施する。	○
③-1	需給計画の策定 ■ ない □ ある → 内容: 今後検討していく。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 ■ ない □ ある → 内容: ゼロエネ・認定低炭素の普及に努め、展開し技術力を高める。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 ■ ない □ ある → 内容: グループ内で定例会を開き、アイデア等を持ち寄り情報交換する。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 4 今年度の参加目標人数 1	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 ■ ない □ ある → 内容: 事務局が日程を決め情報を流し参加を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入 ■ ない □ ある → 内容: 構成員からの新たな情報等があれば全体で検討・導入していく。	○
②	新たな技術等の開発 ■ ない □ ある → 内容: 実施可能なものがあれば構成員全体で検討実行していく。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○
グループ定例会時にテーマを投げかけ技術検討会を重ねていく。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 奥津軽長寿の家	(地域型住宅供給対象地域) 青森県津軽全域												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 奥津軽長寿の家を考える会	(結成年) 2016年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0477-0023													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	<p>地域材利用に関する</p> <p>① 共通 ルール(必須)</p> <p>青森県産材もしくは合法木材を優先的に使用し内装などは県産材加工品を採用する。</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満    <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上    <input type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <p>プレカット業者を統一する事でコストの削減に努める。</p>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない    <input type="checkbox"/> ある → 内容: プレカット工場・事務局が中心となり施工構成員に情報発信していく。</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない    <input type="checkbox"/> ある → 内容: 同上</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 市場動向を配慮したタイムリーな情報提供していく。</p>	○												
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(一畳換算) 枚    お施主様との協議の上でできる限り</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数    坪    お施主様との協議の上検討</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3x6換算) 枚    お施主様との協議の上検討</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3x6換算) 枚    お施主様との協議の上検討</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員全体の今後の定例会時のテーマとして取組む</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員全体の今後の定例会時のテーマとして取組む</p>	○												
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員全体の今後の定例会時のテーマとして取組む</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員全体の今後の定例会時のテーマとして取組む</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員全体の今後の定例会時のテーマとして取組む</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構成員全体の今後の定例会時のテーマとして取組む</p> <p>その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p> <p>出来る限り地元業者に施工してもらい地域貢献に勤める</p>	○												
カ. その他														
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	当地は被災地に該当しない地域ですが災害の大きかった地域の事情をふまえ、被災地域のグループとの情報交換を基に具体的な支援方法を検討実施していく。	◎												
平成28年熊本地震の復興に資する取組	同上	◎												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 奥津軽長寿の家	(地域型住宅供給対象地域) 青森県津軽全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 奥津軽長寿の家を考える会	(結成年) 2016年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0477-0023	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

認定低炭素住宅を設計する際、UA値を0.56w/m<sup>2</sup>以下に地域区分3h3※させる。

日射取得、日射遮蔽の両立を図りながら特性を理解し採用していく。

躯体性能を上げておく事で一次消費エネルギーが標準の△10%維持できる。

ゼロエネルギー住宅ではUA値0.49w/m<sup>2</sup>以下、RO値30.5%以上と目標設定し

躯体性能を上げると共に高効率設備を導入し、太陽光発電採用で実質的なエネルギー削減率R値102.5%以上と設定し取り組む。